

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月4日

上場取引所 東

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
 コード番号 2747 URL <http://www.hokuyu-lucky.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 川端 敏
 (氏名) 桐生 宇優

TEL 011-558-7000

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	21,581	0.1	214	△3.0	174	1.3	94	89.3
25年2月期第2四半期	21,558	△0.7	221	△18.1	172	△16.8	49	△51.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	14.89	—
25年2月期第2四半期	7.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	19,106	4,307	22.5	681.22
25年2月期	18,515	4,261	23.0	673.89

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 4,307百万円 25年2月期 4,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,850	△0.7	482	△4.0	420	2.2	210	13.2	33.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期2Q	6,323,201 株	25年2月期	6,323,201 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年2月期2Q	— 株	25年2月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	6,323,201 株	25年2月期2Q	6,323,201 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成25年3月1日～平成25年8月31日)におけるわが国経済は、「アベノミクス」効果による期待感から円安・株高が進行し、大企業を中心に企業業績及び個人消費に回復傾向がみられたものの、中国をはじめとする新興国経済の予想を上回る減速やユーロ圏信用不安問題などの海外景気の下振れ懸念に加えて、電気料金の値上げや原材料費の上昇など、国内景気を下押しするリスクも存在することから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、少子高齢化及び人口減少を背景に市場が縮小していくなか、消費者の節約志向・低価格志向が進む一方で、経営統合や再編による寡占化も加速するなど、増税問題及び食の安全性問題を含めてスーパーマーケットの経営環境は厳しさを増しております。

このような状況のなか、当社におきましては、「おいしいものを食べたい、豊かな食生活を楽しみたい」というお客様の期待にお応えするべく、「食生活提案型スーパーマーケット」の構築を目指してまいりました。そのために、「鮮度」「品質」の徹底と「おいしさ」の追求、地域の需要に対応したきめの細かい品揃えの実現、急速に進む高齢化による簡便・即食・個食といった需要への対応、また料理をしなくなった家庭の増加に対して、料理の楽しさや日本の伝統的な食文化継承のための提案をどのように行うかが、これからの課題であると考えております。

具体的な政策といたしましては、「ストアロイヤリティの向上」として、ラッキーヘビーユーザーとのつながりをより強固なものとする施策とともに、接客の向上及び清潔で鮮度を維持した売場の継続によって、お客様との信頼関係の構築を図ってまいりました。

商品政策においては、当社が推奨するナチュラルラッキーとテイスティラッキーの商品選定のフィルターを強化し、より厳選された新規商品の開発に努め、一方では「近郊野菜」や「地元銘菓」など地産・地消を強化し、地域需要に対応した品揃えの再構築を行い、北海道でNO.1の商品力の確立を目指してまいりました。

店舗運営においては、「ローコスト経営」を最重要課題として、「人件費率削減」を具体的に目標を定めて、時間帯投下人数の標準化、作業時間の平準化及び各センターの最大活用による生産性の向上に取り組んでまいりました。また、電気料金の値上げに対しては、積極的なLED照明、省エネ機器の導入及びデマンド監視装置の活用による使用電力の適正管理によって、電気料金の抑制に努めてまいりました。

当第2四半期累計期間におきましては、春先の低温・天候不順はありましたが、6・7月にかけて天候に恵まれたこと、また焼肉関連や涼味商材などの盛夏商材が好調に推移し、お盆商戦も盆休日に対応した販促が効果を発揮したことなどにより、既存店売上高は前年同期比100.3%となりました。経費面におきましては、全社を挙げての節電・省エネ対策の取組みによって水道光熱費を前年水準に抑えたこと、作業の効率化によって生産性向上に努めたことなどにより販売費及び一般管理費は前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高215億81百万円(前年同期比100.1%)、経常利益1億74百万円(同101.3%)、四半期純利益94百万円(同189.3%)となりました。

当第2四半期累計期間における新設・閉鎖店舗はなく、平成25年3月に遠軽店、同年5月に星置駅前店を改装し、同年6月には、旧本社の土地売却のため、本社を星置駅前店に移転しております。なお、平成25年度下期において虻田郡倶知安町に新規開店を予定しておりました倶知安店は、建設着工の遅れにより新規開店を平成26年度上期に延期いたしました。

平成25年8月31日現在の店舗数は、34店舗であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較し5億91百万円増加し191億6百万円となりました。

その主な要因は、流動資産において未収入金の減少が40百万円であったものの、現金及び預金の増加が1億32百万円、固定資産において建物の増加が1億21百万円、リース資産の増加が1億15百万円、差入保証金の増加が67百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較し5億45百万円増加し147億99百万円となりました。

その主な要因は、流動負債において短期借入金が10億42百万円減少したものの、支払手形及び買掛金の増加が10億99百万円、固定負債において長期借入金の増加が4億36百万円であったことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較し46百万円増加し43億7百万円となりました。

その要因は、利益剰余金が30百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が15百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ62百万円増加し、4億33百万円(前事業年度末残高は3億71百万円)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は15億57百万円(前年同四半期は8億54百万円の獲得)となりました。これは主に仕入債務の増加が11億円であったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億円(前年同四半期は4億32百万円の使用)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入が9億40百万円であったものの、定期預金の預入による支出が10億10百万円、有形固定資産の取得による支出が2億85百万円であったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10億94百万円(前年同四半期は6億16百万円の使用)となりました。これは主に長期借入れによる収入が8億50百万円であったものの、短期借入金の純減額が10億42百万円、長期借入金の返済による支出が5億77百万円であったことなどによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、急速な消費回復は当面望めないことから、今後も引続き厳しい状況が続くものと予想しております。

平成26年2月期の通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績動向に加え、平成25年度下期において虻田郡倶知安町に新規開店を予定しておりました食品・衣料の共同店である倶知安店が、建設着工の遅れにより今年度内の開店が困難となり、新規開店の予定を平成26年度上期に延期したことなどを加味した結果、平成25年4月12日に公表いたしました平成26年2月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成26年2月期通期業績予想の修正（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	43,650	482	420	210	33.21
今回修正予想 (B)	42,850	482	420	210	33.21
増減額 (B-A)	△800	—	—	—	—
増減率 (%)	△1.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年2月期)	43,166	502	410	185	29.34

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,254	1,343,517
受取手形及び売掛金	259,199	344,823
商品及び製品	1,642,205	1,682,872
原材料及び貯蔵品	40,037	96,991
前払費用	143,331	139,106
繰延税金資産	71,622	93,165
未収入金	378,955	338,792
その他	6,502	6,895
貸倒引当金	△540	△540
流動資産合計	3,752,568	4,045,624
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,262,545	9,504,679
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,831,817	△5,952,459
建物(純額)	3,430,728	3,552,219
構築物	572,890	578,480
減価償却累計額及び減損損失累計額	△450,655	△459,504
構築物(純額)	122,235	118,976
車両運搬具	10,322	10,322
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,034	△10,109
車両運搬具(純額)	287	213
工具、器具及び備品	466,681	483,581
減価償却累計額及び減損損失累計額	△435,671	△432,985
工具、器具及び備品(純額)	31,009	50,596
土地	7,636,809	7,636,809
リース資産	1,258,290	1,283,160
減価償却累計額及び減損損失累計額	△749,046	△658,745
リース資産(純額)	509,243	624,414
建設仮勘定	2,026	2,026
有形固定資産合計	11,732,341	11,985,256
無形固定資産		
ソフトウェア	2,341	2,962
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	20,570	21,190
投資その他の資産		
投資有価証券	184,045	201,275
出資金	609	599
長期前払費用	45,735	43,488
繰延税金資産	496,795	483,434
差入保証金	2,165,096	2,233,087
保険積立金	82,673	61,627
投資その他の資産合計	2,974,955	3,023,513
固定資産合計	14,727,867	15,029,960

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
繰延資産		
社債発行費	34,776	31,277
繰延資産合計	34,776	31,277
資産合計	18,515,212	19,106,863
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,711,415	3,811,007
1年内償還予定の社債	260,000	260,000
短期借入金	2,782,030	1,739,216
1年内返済予定の長期借入金	1,200,305	1,037,102
リース債務	219,016	241,635
未払金	275,869	344,016
未払費用	264,295	302,029
未払法人税等	71,272	90,880
未払消費税等	55,104	61,212
前受金	66,582	65,597
預り金	82,833	132,984
賞与引当金	114,803	178,822
流動負債合計	8,103,527	8,264,506
固定負債		
社債	1,740,000	1,610,000
長期借入金	2,510,909	2,947,044
リース債務	359,472	451,804
退職給付引当金	900,189	897,515
役員退職慰労引当金	244,705	235,051
長期預り保証金	349,117	346,389
資産除去債務	45,247	45,587
その他	894	1,447
固定負債合計	6,150,535	6,534,839
負債合計	14,254,063	14,799,346

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	795,818	826,721
利益剰余金合計	3,260,818	3,291,721
株主資本合計	4,253,842	4,284,744
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,306	22,772
評価・換算差額等合計	7,306	22,772
純資産合計	4,261,148	4,307,516
負債純資産合計	18,515,212	19,106,863

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	21,558,874	21,581,209
売上原価	16,215,364	16,268,989
売上総利益	5,343,509	5,312,220
営業収入		
不動産賃貸収入	149,167	144,080
運送収入	406,110	382,781
営業収入合計	555,277	526,862
営業総利益	5,898,787	5,839,082
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	256,894	239,506
配送費	342,143	338,725
販売手数料	323,001	354,747
給料及び手当	1,064,483	1,055,846
賞与引当金繰入額	172,278	178,822
退職給付費用	57,378	57,983
役員退職慰労引当金繰入額	4,608	4,766
雑給	1,247,327	1,221,082
水道光熱費	373,544	373,244
減価償却費	268,425	267,983
地代家賃	478,377	475,047
その他	1,088,699	1,056,381
販売費及び一般管理費合計	5,677,163	5,624,137
営業利益	221,624	214,944
営業外収益		
受取利息	5,956	5,644
受取配当金	5,229	6,287
債務勘定整理益	801	507
受取補償金	—	11,690
雑収入	26,929	23,629
営業外収益合計	38,917	47,758
営業外費用		
支払利息	83,002	71,727
社債発行費償却	4,498	3,498
雑損失	1,036	13,208
営業外費用合計	88,536	88,434
経常利益	172,004	174,269
特別損失		
減損損失	—	4,363
投資有価証券評価損	41,190	—
固定資産除売却損	21,887	972
解約違約金	—	6,360
特別損失合計	63,077	11,696
税引前四半期純利益	108,927	162,572
法人税、住民税及び事業税	61,999	78,385
法人税等調整額	△2,808	△9,946
法人税等合計	59,191	68,438
四半期純利益	49,736	94,134

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	108,927	162,572
減価償却費	268,425	267,983
長期前払費用償却額	6,876	5,746
減損損失	—	4,363
賞与引当金の増減額(△は減少)	49,886	64,019
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23,696	△2,674
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,248	△9,653
受取利息及び受取配当金	△11,186	△11,931
その他の営業外損益(△は益)	△26,694	△22,618
支払利息	83,002	71,727
固定資産除却損	21,887	972
投資有価証券評価損益(△は益)	41,190	—
売上債権の増減額(△は増加)	△21,959	△85,624
たな卸資産の増減額(△は増加)	21,871	△97,620
仕入債務の増減額(△は減少)	439,177	1,100,100
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,463	6,108
預り保証金の増減額(△は減少)	1,891	△2,728
その他	107,783	199,976
小計	1,075,560	1,650,718
利息及び配当金の受取額	7,055	8,658
その他の収入	26,929	35,319
利息の支払額	△81,872	△65,322
その他の支出	△1,036	△13,208
法人税等の支払額	△172,283	△58,685
営業活動によるキャッシュ・フロー	854,352	1,557,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△840,000	△1,010,000
定期預金の払戻による収入	720,000	940,000
有形固定資産の取得による支出	△258,776	△285,134
無形固定資産の取得による支出	—	△1,500
差入保証金の差入による支出	△88,350	△113,148
差入保証金の回収による収入	41,110	47,880
繰延資産の取得による支出	△3,541	—
その他	△3,188	21,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	△432,747	△400,846
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△794,708	△1,042,814
長期借入れによる収入	400,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△486,372	△577,067
社債の発行による収入	500,000	—
社債の償還による支出	△50,000	△130,000
リース債務の返済による支出	△122,879	△131,562
配当金の支払額	△62,719	△62,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△616,679	△1,094,371
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△195,074	62,262
現金及び現金同等物の期首残高	709,763	371,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	514,689	433,517

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。